

様式

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和7年度第3回新町小学校学校運営協議会
日時	令和8年2月4日（水曜日） 13時35分～16時00分
場所	新町小学校 会議室
出席委員	武田 和子会長、高橋 裕一委員、中里 由架利委員、 菊池 あきな委員、豊田 梓委員、田邊 昭子委員、 萩原 基雄委員、工藤 隆委員、安達 隆元（新町小学校長）
欠席委員	内田 優委員、忍足 順子委員、高篠 志保委員
事務局	野尻 剛司教頭、岩田 宏子教務主任、三浦 芙美代事務主幹
議題	(1) 学校再編に関わる説明（学校教育課） (2) ここまでの学校運営について (3) 今年度の学校評価について
配布資料	資料1 第3回新町小学校学校運営協議会次第 資料2 学校だより「明日への希望」第3号 資料3 令和7年度自己評価・学校関係者評価報告書 資料4 令和8年2月4日（水）5校時 各学級の授業一覧 資料5 西中学校と鶴ヶ島中学校の再編について 資料6 （新）鶴ヶ島中学校開校に向けた取組について 資料7 鶴ヶ島中学校大規模改修工事のイメージパース（屋外） 資料8 鶴ヶ島中学校大規模改修工事のイメージパース（屋内） 資料9 鶴ヶ島中学校大規模改修工事のお知らせ
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	(1) 学校再編に関わる説明 鶴ヶ島市の学校再編について学校教育課が説明した。 (2) ここまでの学校運営について ここまでの学校運営について校長が学校だよりを用いて説明した。 (3) 令和7年度の自己評価・学校関係者評価について 令和7年度自己評価・学校関係者評価報告書について教頭が説明し、委員からご意見をいただいた。

【協議】

(1) ここまでの学校運営について

(校長)・学校の果たす役割、学校にしかできないことを常に考察してきた。助け合いたいと思える子供、社会に出て、一緒に仕事をしたいと思われる人材を育成していきたいと考えている。

- ・子供たちには、「みんなの場所・時間・相手のことを考えながら」の重要性と「ありがとう・ごめんなさい・助けてほしい」という3つの言葉の大切さについて、引き続き、伝

えていきたい。

- ・教職員だけでなく、保護者や地域の皆様のおかげで、大きな事故無く過ごすことができた。
- ・今年度の重点課題として、教職員・保護者・児童の学校評価がなるべく一致し上向きになることを挙げ、様々な課題に取り組んだ。
- ・配慮や支援を受けながらも自分なりに課題に向き合えた子供等、成長が見られた。
- ・体力面では、投げる力、跳ぶ力に課題がある。

## (2) 今年度の学校評価について

令和7年度自己評価・学校関係者評価報告書について教頭から説明し、委員からの質問に校長、教頭、教務主任が回答した。

### ①学校教育目標について

### ②児童の良さや可能性・学校が楽しいか

### ③主体的な発表・いろいろな考えにふれる

(委員) 子供から学校の様子を聞くが、良いことを担任の先生に伝えることができる場が無い。潜在的な保護者の思いを伝える場が無い。

(委員) 先生方が求めていることと子供の感じていることに差が出ているので、間を埋める作業が必要である。お互いに得られるものを合致させて、どのように高めていけばよいか課題である。4月に比べて、先生方に余裕が感じられる。また、失敗した子供への声がけを子供たちが自然にできていて、子供の自発性の伸びを感じた。さらに高めていくために、協議会で考えていきたい。

### ④ICT 活用

### ⑤体力向上

### ⑥生徒指導

(委員) 生徒指導に関する質問で、保護者の「わからない」という回答が多い。学校がやっている時間に相談できないからなのか、保護者がうまく伝えられないということなのか。問題を抱えている家があるなら見過ごさず、保護者がうまく学校と関わる道筋を指導していただくと良いと思う。

ICTに関する質問で、保護者自身がICTをよく理解しているからもう少し学校で利用してほしいと感じているのか、保護者自身がICTのことをよくわからないから「わからない」と回答しているのか、否定的な回答の中身がよくわからない。

(委員) 子供はタブレットの使い方を学校で習ってくるが、保護者は詳しい操作方法を教えてもらう場が無い。子供がわからない時にどのように支援をしたら良いのか。

(委員) 1年生の授業参観のときに、保護者と一緒にタブレットの操作方法を学習する学校があると聞いた。懇談会で操作方法やリモート・家庭学習のやり方等をやってもらえると良い。

⑦良さや可能性を伸ばす

⑧特性の理解

⑨学校応援団

⑩働き方改革

(委員) C4 t hで連絡する時にコメントが1回しか送れない。複数回送ることができるようにはならないか。

(教務主任) 確認する。

(委員) 特別支援学級では、個に応じた指導がされていた。先生方が一人で抱え込まないで全体で見守りが必要な子に対応してくださっているのはありがたい。特別支援教育について保護者への説明、理解はどこまで広がっているのだろうか。特別支援は、特別扱いではなく必要な支援だと理解が広がると良い。

(教頭) 様々な場所で発信していきたい。

(委員) 保護者からカウンセラーの方へのつながり方や相談の仕方がわからない。コンタクトの取り方や窓口がわかっていたほうが利用しやすい。

(委員) 保護者の方が主任児童委員への相談の仕方を知らない。学校のお便りの中に主任児童委員のことを知らせてほしい。守秘義務があり、学校には口外しない上でというようなことやつぶやきのようなことでも話してもらって良い。西中では入学説明会で説明している。

(委員) 以前は、学校からお願いがあったら不登校の子供の家へ行くこともあったし、主任児童委員の会議があった。現在は、どこまでが主任児童委員の任務なのか。学校と主任児童委員との関係はどうなっているのか。小学校区毎にいらっしゃるので、ぜひ活用したほうが良い。

(校長) SC、SSW、主任児童委員、民生児童委員、家庭相談員等と連携をはかっていく。